

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-035134

(43)Date of publication of application : 09.02.2001

(51)Int.Cl.

G11B 27/031

G11B 20/10

(21)Application number : 11-201214

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 15.07.1999

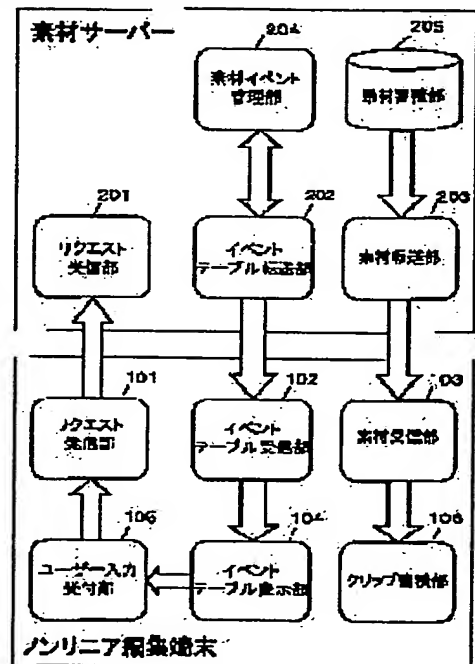
(72)Inventor : SAKANO KEIICHI  
MURAOKA HIDEFUMI  
EGAWA TAKASHI

## (54) VIDEO/SOUND DATA TRANSFER DEVICE AND NONLINEAR EDITING DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To make it possible to save data storing area on the editing terminal side and to shorten transfer time from a blank server to the editing terminal.

SOLUTION: A blank event control part 204 which controls the blank event which indicates from where to where what sort of data are collected in the blank is placed in the blank server, the data are sent to a nonlinear editing terminal and, after receiving the designation of in-point and out-point required as response, the designated area is sent to the nonlinear editing terminal side. Thereby, the effect such as the saving of the data storing region at the nonlinear editing terminal side and the shortening of the transfer time from the blank server to the nonlinear editing terminal can be obtained.



## LEGAL STATUS.

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2001-35134  
(P2001-35134A)

(43) 公開日 平成13年2月9日 (2001.2.9)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テマコード (参考)

G 1 1 B 27/031  
20/10

G 1 1 B 27/02  
20/10

A 5 D 0 4 4  
G 5 D 1 1 0

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-201214

(22) 出願日 平成11年7月15日 (1999.7.15)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社  
大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 阪野 恵市

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(72) 発明者 村岡 秀文

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

(74) 代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外 2 名)

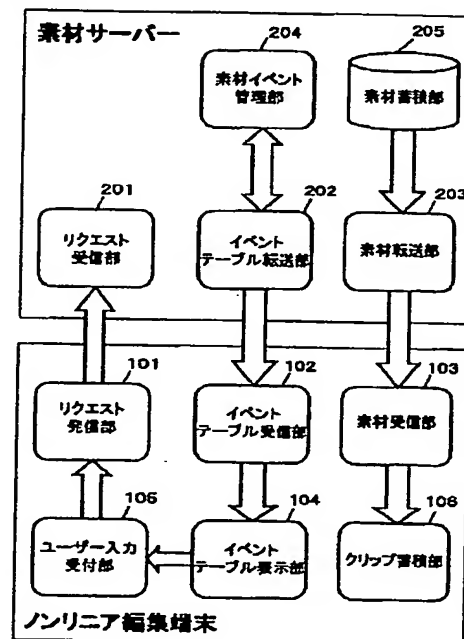
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 映像音声データ転送装置およびノンリニア編集装置

(57) 【要約】

【課題】 素材サーバーから素材データを取り込んで編集に使用するノンリニア編集端末において、取り込もうとする素材サーバー上の素材が非常に大きなサイズを持つ場合、ノンリニア編集端末側にも大容量の記憶装置を必要とし、また素材サーバーからノンリニア編集端末へのデータ転送にもかなり長い時間を要することになる

【解決手段】 素材のどこからどこにどのようなデータが収録されているかを示す素材イベントを管理する素材イベント管理部 204 を素材サーバーに置き、このデータをノンリニア編集端末に送り、応答として必要なイン点とアウト点を指定してもらった後、指定領域をノンリニア編集端末側に送る。これにより、ノンリニア編集端末側のデータ格納領域の節約、素材サーバーからノンリニア編集端末への転送時間の短縮という効果が得られる。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 映像音声データ中の各区間を構成する内容を列記するデータ構造をイベントテーブルと呼ぶ時、映像音声データを蓄積する素材サーバーと、前記素材サーバーからデータを獲得する端末を具備し、前記端末は、前記素材サーバーに対して前記映像音声データあるいは前記イベントテーブルの転送を要求するリクエスト発信部と、前記素材サーバーから転送される前記イベントテーブルを受信するイベントテーブル受信部と、前記素材サーバーからの前記映像音声データを受信する素材受信部と、前記素材サーバーから受信した前記イベントテーブルをユーザーに対し表示するイベントテーブル表示部と、ユーザーからの入力を受け付けるユーザー入力受付部と、前記素材サーバーから転送される前記映像音声データを格納するクリップ蓄積部から構成され、前記素材サーバーは、前記リクエスト発信部からの要求を受信するリクエスト受信部と、前記イベントテーブル受信部に前記イベントテーブルを転送するイベントテーブル転送部と、前記素材受信部に前記映像音声データを転送する素材転送部と、各素材毎の前記イベントテーブルを管理する素材イベント管理部と、前記映像音声データを格納する素材蓄積部から構成されることを特徴とする映像音声データ転送装置。

【請求項2】 映像音声データ中の各区間を構成する内容を列記するデータ構造をイベントテーブルと呼ぶ時、映像音声データを蓄積する素材サーバーと接続し、前記素材サーバーに対し、前記映像音声データあるいは前記イベントテーブルの転送を要求するリクエスト発信部と、前記素材サーバーから転送される前記イベントテーブルを受信するイベントテーブル受信部と、前記素材サーバーからの前記映像音声データを受信する素材受信部と、前記素材サーバーから受信した前記イベントテーブルをユーザーに対し表示するイベントテーブル表示部と、ユーザーからの入力を受け付けるユーザー入力受付部と、前記素材サーバーから転送される前記映像音声データを格納するクリップ蓄積部を具備し、前記素材サーバーは、前記リクエスト発信部からの要求を受信するリクエスト受信部と、前記イベントテーブル受信部にイベントテーブルを転送するイベントテーブル転送部と、前記素材受信部に前記映像音声データを転送する素材転送部と、各映像音声データの前記イベントテーブルを管理する素材イベント管理部と、前記映像音声データを格納する素材蓄積部から構成されることを特徴とするノンリニア編集装置。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は映像音声データの転送装置に関するものである。

##### 【0002】

【従来の技術】 これまで、ノンリニア編集装置などの映

像音声データを扱う端末においては、端末自身に直接編集対象の映像音声データを取り込み編集に使っていた。しかしここ最近では、データの共有化を考慮し、大容量の蓄積が可能な素材サーバーに一元的に映像音声データを保持させ、編集端末側では、サーバーから適宜 必要な素材データを取り込み、これを編集に利用するという手法が用いられる。

##### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしこの場合、取り込もうとするサーバー上の素材が非常に大きなサイズを持つ場合、端末側にも大容量の記憶装置を必要とし、また素材サーバーから端末へのデータ転送にもかなり長い時間を要することになる。

##### 【0004】

【課題を解決するための手段】 この課題を解決するために、本発明は、サーバー側に、各素材のどこからどこにどのような内容が収録されているかという情報を保持させ、これを端末側に転送し、端末側からは必要な素材の指定だけでなく、その転送開始タイムコード、転送終了タイムコードを指定させて、実際に必要な部分のみ転送を行わせる。

##### 【0005】

【発明の実施の形態】 本発明の映像音声データ転送装置は、映像素材サーバーにある映像素材について、どのタイムコードにどのような映像が収められているかという情報を管理し、これをノンリニア編集装置等の端末に送り、編集端末側で転送開始タイムコード、転送終了タイムコードを指定することによって、実際に必要な部分のみを端末側に転送するものである。これにより編集端末側の記憶容量の節約と編集端末への転送時間の短縮を実現するものである。

【0006】 以下、本発明の実施の形態について図面を参照しながら説明する図1は、本発明の映像音声データ転送装置を示し、編集端末はリクエスト発信部(101)、イベントテーブル受信部(102)、素材受信部(103)、イベントテーブル表示部(104)、ユーザー入力受付部(105)、クリップ蓄積部(106)から構成される。

【0007】 また素材サーバーはリクエスト受信部(201)、イベントテーブル転送部(202)、素材転送部(203)、素材イベント管理部(204)、素材蓄積部(205)から構成される。

【0008】 図2は、映像素材のイベントテーブルを示し、その素材についての開始タイムコード(イン点)、終了開始コード(アウト点)、その区間の内容(イベント)から構成される。

【0009】 以下、編集端末、素材サーバーそれぞれの動作について説明する。

【0010】 まず、編集端末側のリクエスト発信部101は、素材サーバーに対して、ある映像素材のイベント

テーブルを要求する。

【0011】これに対して素材サーバー側のリクエスト受信部201はこの要求を受信し、これをイベントテーブル転送部202に送る。

【0012】これを受けてイベントテーブル転送部202は、素材イベント管理部204から対応する素材のイベントテーブルを獲得し、これを編集端末側に転送する。

【0013】次に、編集端末側のイベントテーブル受信部102は、このイベントテーブルを受理した後、これをイベントテーブル表示部104に送り、これをユーザーに表示する。

【0014】この後、ユーザーから転送開始タイムコード、転送終了タイムコードを入力してもらい、これをユーザー入力受付部105で受理する。

【0015】リクエスト発信部101はこれを受けて、再度映像素材とユーザー指定の転送開始タイムコードと転送終了タイムコードを素材サーバー側に送る。

【0016】素材サーバー側では、リクエスト受信部201でこれを受理し、素材転送部203にこれを伝える。

【0017】素材転送部203は、これに対し素材蓄積部205から指定された素材の指定領域のデータを読み出し、これを編集端末側に転送する。

【0018】素材受信部103では、このデータを読み込み、クリップ蓄積部106へ格納し、これを編集作業に利用する。

【0019】なお、以上の説明では、イベントテーブル表示部104、ユーザー入力受付部105を含んだ構成例で説明したが、これらの代わりに、イベントテーブル

受信部102で受理したイベントテーブルを受けて、自動的に転送開始タイムコード、転送終了タイムコードを決定し、リクエスト発信部101にリクエスト発信を依頼するような構成であってもかまわない。

【0020】また、素材イベント管理部を素材サーバー内で管理する構成で説明したが、素材サーバーとは異なる端末で管理する構成であってもかまわない。

【0021】さらに、ここでは映像データで説明を行ったが、音声データについても同様である。

【0022】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、編集端末側のデータ格納領域の節約、素材サーバーから編集端末への転送時間の短縮という有利な効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態による映像音声データ転送装置を示すブロック図

【図2】イベントテーブルを示す図

【符号の説明】

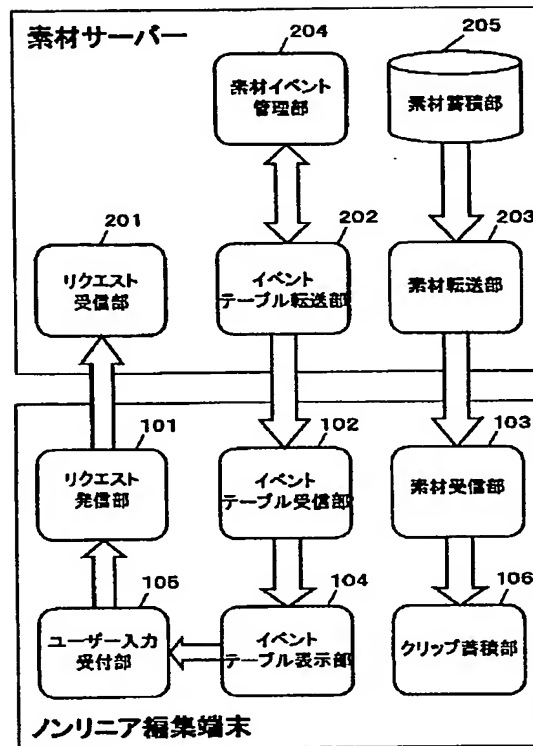
101 リクエスト発信部  
102 イベントテーブル受信部  
103 素材受信部  
104 イベントテーブル表示部  
105 ユーザー入力受付部  
106 クリップ蓄積部  
201 リクエスト受信部  
202 イベントテーブル転送部  
203 素材転送部  
204 素材イベント管理部  
205 素材蓄積部

【図2】

イベントテーブル

イン点	アウト点	内容
00:00:00:00	00:05:00:00	仲人挨拶
00:05:00:00	00:15:00:00	主賓挨拶
00:15:00:00	00:17:00:00	乾杯
00:17:00:00	00:20:00:00	ウェディングケーキ入刀

【図1】



フロントページの続き

(72)発明者 江川 剛史  
大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

Fターム(参考) 5D044 AB05 AB07 DE14 DE27 DE49  
DE96 EF07 FG19 GK12 HL11  
HL16  
5D110 AA13 AA27 AA29 BB20 CA05  
CA06 CA16 CC03 CD15 CD19  
CJ14